

令和7年度第1回市長と語る会（富戸）意見一覧

日時：令和7年6月26日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：富戸コミュニティセンター 3階大会議室

- ① 市道三の原線吉田入口からの拡幅改良について
- ② 市道梅の木平線の岡町地内の踏切に係る拡幅について
- ③ 県道伊東川奈八幡野線の旧あいら伊豆農協付近の拡幅工事について
- ④ 県道伊東川奈八幡野線の西町会館前の拡幅について
- ⑤ 県道伊東川奈八幡野線の西町地内の拡幅について
- ⑥ 県道伊東川奈八幡野線の富戸定置網干し場前の拡幅について
- ⑦ ごみステーションに設置する集積箱の購入費の補助について
- ⑧ 通学時の交通費の負担軽減について
- ⑨ 道路沿いの草木の伐採について
- ⑩ 県道伊東川奈八幡野線の拡幅工事について
- ⑪ 富戸小学校の統廃合について
- ⑫ 今後の図書館運営について①
- ⑬ 通学費の補助について
- ⑭ 図書館だより等について
- ⑮ 富戸の海の活用について
- ⑯ 地域の魅力の向上について
- ⑰ 街灯の設置について
- ⑱ 統合後の旧学校跡地の避難場所としての活用について
- ⑲ 副市長や教育長について
- ⑳ 市と市民との情報共有等について
- ㉑ 地域コミュニティの維持について
- ㉒ 地域と行政のつなぎ役について
- ㉓ 観光スポットのヒント等について
- ㉔ 今後の図書館運営について②
- ㉕ 空き家の活用について
- ㉖ 聴取した意見のその後について
- ㉗ 意見聴取の場の設定について
- ㉘ 伊東の魅力を発信するきっかけづくりについて
- ㉙ 伊東市会館建設費補助金の対象拡大について
- ㉚ 遊歩道の整備について

※意見に対する回答について、当日回答できなかつたことや、後日具体的な進展があつたものなどは内容を追記しております。

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-①
市道三の原線吉田入口からの拡幅改良について		
<p>市道三の原線の吉田側の入口から県道伊東川奈八幡野線までの道路は、近年大型車両の通行量が増加しています。特に、永谷伊東営業所前から村田橋付近の道路は大変狭く、毎年事故等が発生しています。バス等の大型車と普通車等がすれ違いにくい状況であり、大変危険です。</p> <p>市は、詳細設計、用地測量、用地交渉及び買収を予定しているとのことであります。区民からの強い要望でありますので、拡幅改良をお願いします。</p> <p>また、センターラインがない・消えている箇所が多くありますので、対応をお願いします。</p>		
回 答		
<p>市道三の原線の現在の進捗状況につきましては、村田橋付近の拡幅改良に向けた修正設計が完了し、用地交渉のための測量等を準備しております。</p> <p>用地についてご協力いただける箇所から順次用地買収を進めていく予定とおりですが、道路の完成には沿線地権者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠でございますので、地域の皆様にもお力添えをお願いいたします。</p>		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意　見	区	富戸-②
市道梅の木平線の岡町地内の踏切に係る拡幅について		
<p>特に、松尾町から下りてくる踏切付近は、大変見通しが悪く、狭くなっています。片側一方通行のように、相手の車が一時停止して通行している状況であります。通行量も多く、車同士の接触事故等もあり、危険であります。以前、梅の木平線の踏切周辺の拡幅工事をした時に、踏切拡幅の話をしてきた経過がありますが、実際はそのままの状態になっています。また、数年前には横浜市で大きな踏切事故があり、大変危険です。区民の要望も強くあります。市は、踏切の改良については、国道側の拡幅改良が完了した後に行うことであり、伊豆急行とも協議して行くとのことですが、踏切付近の拡幅をお願いします。</p>		
<p>回　答</p>		
<p>市道富戸・梅の木平線の現在の進捗状況につきましては、長年の懸案であった踏切内の用地買収困難箇所の問題が解決し、令和6年度に買収を完了いたしました。</p> <p>今後につきましては、富戸駅側の一部において用地買収計画があり、踏切前後の拡幅が完了してから踏切の拡幅になることから、伊豆急行(株)と引き続き協議を行い、今後の拡幅に向け努力してまいります。</p>		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-③
県道伊東川奈八幡野線の旧あいら伊豆農協付近の拡幅工事について		
既に50年以上に渡って解決していない、富戸区における最重要課題であります。県が用地交渉を行い、解決できた箇所は一部拡幅されていますが、まだ対応中の箇所があります。車両の交通量が大変多く、道路も狭いため、交通事故の危険性が高いことから、区民から強い要望が上がっていますので、市としてもお力添えをお願いします。		
回 答		
県道を所管する熱海土木事務所にご意見をお伝えし、回答をいただきましたので、ご報告いたします。		
「当該箇所につきましては、地権者のご理解とご協力により、昨年度末に用地の問題を解決することができました。今後、工事となりますが、周辺の道路拡幅工事の進捗やこれに伴う交通状況を考慮した上で着手していく予定です。」とのことでございました。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-④
県道伊東川奈八幡野線の西町会館前の拡幅について		
西町会館前の県道は、長さ約 20m、幅 2m 前後の突出した民有地があり、道路が狭くなっています。車両や歩行者にとって大変危険です。		
県は、5 年度予算化されたとのことですが、区民からの強い要望がありますので、早期の工事着手にお力添えをお願いします。		
回答		
県道を所管する熱海土木事務所にご意見をお伝えし、回答をいただきましたので、ご報告いたします。		
「当該箇所につきましては、昨年度から工事に着手しております。今年度も引き続き工事を進めてまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。」とのことでございました。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑤
県道伊東川奈八幡野線の西町地内の拡幅について		
<p>西町「かまや」付近で2車線から1車線に変わり、路側帯も狭くなるなど通行する車はもちろんのこと、歩行者にとっては逃げ場がなくなり、非常に危険な箇所となっております。</p> <p>また、車の通行量も多くなっており、事故等もあります。片側通行のように片方の車が停止して、対向車が通過するのを待っているケースが見受けられます。県は、山側に2メートル位の拡幅が可能との見解を示し、5年度予算化されたとのことですですが、区民からの強い要望がありますので、早期の工事着手にお力添えをお願いします。</p>		
回 答		
<p>県道を所管する熱海土木事務所にご意見をお伝えし、回答をいただきましたので、ご報告いたします。</p> <p>「当該箇所につきましては、昨年度から工事に着手しております。今年度も引き続き工事を進めてまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。」とのことでございました。</p>		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意　見	区	富戸-⑥
県道伊東川奈八幡野線の富戸定置網干し場前の拡幅について		
富戸定置網(株)の網干し場前の県道は、ガードレールが設置され変形した道路となっています。車両の通行量が多く、事故等もあり、車両や歩行者にとって大変危険であります。定置網(株)は大変理解を示しており、拡幅部分を県に譲る方向であります。		
区民からの強い要望がありますので、拡幅をお願いします。		
回　答		
県道を所管する熱海土木事務所にご意見をお伝えし、回答をいただきましたので、ご報告いたします。		
「当該箇所につきましては、現在、関係地権者と用地交渉を進めています。引き続き、工事に着手できるよう進めてまいりますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。」とのことでございました。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑦
ごみステーションに設置する集積箱の購入費の補助について		
ごみステーションに出したごみがカラスなどに荒らされてしまい、衛生的にも景観的にも良くありませんし、清掃が大変です。折りたたみ式の集積箱を設置したいと思っても、一個数万円はしますので、市で購入費の補助を検討していただけないでしょうか。		
回答		
市内の多くのごみステーションでは、排出された指定ごみ袋にネットを被ることでカラスや猫によるごみの散乱を防いでおりますが、それだけでは散乱を防ぐことが難しく、周辺環境を清潔に保つために苦労されているものと承知をしております。		
ご意見にあります「折りたたみ式集積箱」の設置につきましては、ごみの散乱防止に非常に大きな効果があるものと認識しておりますが、一方で、購入には数万円程度の費用がかかることから、現在、購入費の一部を市が補助する制度について、令和8年度からの導入を目途に検討を行っている状況であり、検討結果にもよりますが、導入が決定した際には、市民の皆様に広くお知らせしてまいりたいと考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-⑧
通学時の交通費の負担軽減について		
子どもが対島中学校に通学しており、バス代が年間10万円を超えてます。他市ではコミュニティバスが利用できるところもあると聞いていますので、保護者の負担にならないように検討をお願いします。		
回答		
確かに、伊東市ではまだ安価に利用可能なコミュニティバスが実現しておりません。できるだけ早急にということで、市長に就任後すぐに2回ほど担当課と会議を持ちました。いろいろな課題があり、なかなか進んでいないというのが現実であります。		
それは言いましても、やはりこれから的生活には欠かせないものですし、これから物価が高騰していく中でガソリン代のこともありますので、新しい公共交通や、 <u>例えば、月額定額で乗れるようなものの実現は急がなければならぬと認識</u> しております。		
会議等で進んだことに関しましては、都度ご報告を差し上げたいと思っております。今のところまだ実証実験が進んでいるだけですので、早く実現化に向けて進めてまいりたいと思っております。		
【都市計画課補足】 月額定額は、あくまでも料金体系の例示であり、交通事業者、利用者双方の負担が少なくて済むような料金体系の実現が必要であると考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑨
道路沿いの草木の伐採について		
市内全体を見ますと、道路に沿線の草や樹木の枝がかぶさってしまい、バスとすれ違うときなど、道路の幅員があっても枝が邪魔をして端に寄れないということがあります。熱海土木事務所とも協議が必要になるかと思いますが、対策を講じていただきたいです。		
回 答		
私も車で通行しますので、草を避けるとどうしても真ん中に寄ることがあります。		
枝払いや道路の草刈りというのは、観光地ですので、見栄えの問題もあって多く指摘されているところです。		
国・県道等、県が管理する道路につきましては、いただいたご要望を県（熱海土木事務所）へお伝えいたします。		
草刈りをする際には、警備員の方や石が飛ばないようにネットを抱える方などが必要ですので、草刈りを行うにはなかなか人手が揃わないというお話も聞いております。その点につきましては、何か解決策は考えたいと思っております。草が繁茂していることは事実ですので、重点的にこれから調べて対策を講じ、できるだけスピーディーに実行してまいりたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑩
県道伊東川奈八幡野線の拡幅工事について		
道路の拡幅工事が行われているということですが、熱海土木事務所が独断で行うのではなく、事前に完成予想図などを使って地域住民への説明を行ったり、地域住民からの要望を聞いてもらったりする機会はあるのでしょうか。私は西町に住んでいて、家の前が道路なのですが、子どもが側溝に落ちてしまったり、車がスピードを出して走っていったりして怖いので、安全な歩道を整備してほしいです。		
横磯の道も皆さん散歩したいと思っているのですが、港に行くまでの箇所がとても狭くて歩くところがないです。地域住民が安心して歩ける道を整備してほしいです。		
回答		
道路の拡幅につきましては、道路の規格等は条例等で決まっております。		
ただ、一番の課題は用地の確保になると思います。このことに関しましては、地域の皆様の協力が必要ですので、協力をしていただきたいと思います。		
どんな道路になるかというのは、今後熱海土木事務所に話をしまして、完成予想図等を広く市民の方々に広報していただくようにお伝えいたします。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑪
富戸小学校の統廃合について		
6月14日に行われた小中学校の対島地区再編に伴う富戸区説明会では、富戸小学校の統廃合に反対する意見が大半を占めていましたが、あの場での話が結論になってしまうのでしょうか。私は複式学級や数人のクラス編成で学校運営をしていくことになったら、孫を入学させたいとは思いませんが、説明会の雰囲気ではとても言い出せる状況ではありませんでした。私はむしろ、富戸小学校は市内で一番広い校庭がある学校ですので、富戸小学校に八幡野小学校を統合するというのも一つの案だと思っています。意見聴取の機会はまだあるのでしょうか。		
回 答		
本当にいろいろなご意見があり、地区が変わるとまたご意見も変わりまして、一回ではもちろん済まされないと同時に、その場の雰囲気によっては違うご意見が出しづらいというのはごもっともだと思います。意見の集め方を少し工夫してみたいと思っております。		
また他の地区からは、例えばアンケートを取るにしても、三つぐらい案を示して、ただ賛成なのか反対なのかではなく、こういう良いことがある、こういうデメリットがあるということが分かりやすい形で選択できるようにしたらどうかというご意見もありました。		
学校の問題は非常に難しいと私も説明会に参加して思いました。一回で終わりということではなく、説明会で出たご意見をもう一度集約したものを、例えば皆様に、クラスにお返しするなどして、再度アンケート取るなど、丁寧に意見聴取をしてまいりたいと思っております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑫
今後の図書館運営について①		
市長は旧西小学校の建物を利用するというお考えをお持ちだと伺いました。本を並べるだけならそれでいいのかもしれません、図書館は生涯学習拠点としての役割も非常に大きいと思います。生涯学習の場の確保はどのように考えていますか。		
回答		
旧西小学校へというのは一案ですが、旧西小学校を活用したいという市民の方の声は非常に多く、活用するとしますと、図書館スペースになるのは、本が濡れないという条件で3階スペースになるのかなと思います。それ以外のスペースはシビックセンターのような市民活動の場に活用できればと考えております。		
まだ実際の検討には入っておりませんが、旧西小学校を使う案や、今の中会館を直して図書スペースをもっと広げるという案があります。		
あとはもう一つ、違う場所に移転という案もできれば出したいとは思っておりましたが、今のところ現実的なのは、この二つの案のうちどちらかになるかと思いますので、今後も引き続き、皆様とお話する機会を設けたいと思っております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-⑬
通学費の補助について		
先程通学時のバス代に関するお話が出ましたが、先日の小中学校の統廃合の説明会で、統合後の通学費を助成するという話があり、また現在も小学校統合通学費補助金というものがあると知りました。対島地区は非常に広いのですが、統合した学区には補助が出て、広い学区には補助が出ないというのは公平ではないのではと疑問に思いました。何か明確な基準や納得できるような仕組みにしていただけたらと思います。また、バスの回数券の値段が上がっているということも考慮して検討をお願いします。		
回答		
統合後の通学のことはこの前の説明会でも責任を持ってやりますというお話をしました。		
予算がいろいろかかる中で、通学費の補助については、気安く任せくださいとも言えない部分がありますが、今回国から交付金を使いまして一年間給食費の無償化を行い、来年度以降も無償化のご要望が多くありますが、それと同じぐらい交通費の補助は望まれていると私も思っておりますので、どこまでできるかですが、先程の新しい公共交通も含めて、多面的に捉えてまいりたいと思います。		
回数券のお話は、私が議員だったときから、どんどん値上がっていくという実感がありまして、お困りの方も多くいらっしゃると思います。物価高騰対策として、市民の方の大切な足でもありますので、検討してまいりたいと思っております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑯
図書館だより等について		
伊東市子ども図書活動推進計画を読みますと、図書館が発行する「図書館だより」が重要視されています。各年齢に応じたおすすめの本を紹介するもので、学校を通して配布されていますが、学校によってカラー刷りであったり、白黒刷りであったりします。富戸小学校は白黒刷りなのですが、本の表紙の画像が真っ黒で、ほとんど本のタイトルしか分からぬようなプリントになっていましたので、子どもたちに何を届けたいのかということを考えた上で、発信する側の責任としてしっかりやっていただきたいと思います。		
また、以前、保育園を通じて、保護者が子どもをお迎えに行く際に図書館の本を借りることができる仕組みがありました。現在も続いているのか分かりませんが、利用した保護者からは非常に好評だったと聞いています。保護者の実情に合った素晴らしい取組だと思いますので、地道に広げていくといいと思います。		
回 答		
図書館については、今のご意見ももちろんいただきますが、これからさらに、どんな図書館を作つていったらいいのか、皆様のご意見をたくさんいただきたいと思っております。またこれからも積極的に集まりを開いたり、アンケート調査等を行つたりしますので、ぜひいろいろなご意見をお寄せいただければと思います。		
【図書館補足】 読書の楽しさや情報を提供する手段の一つとして、本のタイトル、著者名、出版社名、本の内容や表紙の画像を掲載した「図書館だより」の配布を、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に行っております。小学校配布分につきましては、配布部数が多く、白黒印刷とさせていただいておりますが、希望する学校にはデータによる納品も可能しております。「図書館だより」につきましては、いただきましたご意見等を参考に、今後ともよりよい内容になるよう作成してまいります。 また、図書館では、現在も図書館職員が選書した本を、保育園と幼稚園でお受け取りができる「本のお楽しみ定期便」を実施しております。さまざまな制約はありますが、子どもの読書活動の推進につながるようなサービスの提供に今後とも努めてまいります。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑯
富戸の海の活用について		
富戸には海から陸を見たときに、埠頭の裏山に富士山がそびえ立つというロケーションがあります。また、海の中の岩が犬の格好に見えたり、城ヶ崎の灯台にある出っ張りが何人かの横顔に見えたりするなどの見所がありますので、皆さんに知っていただきたいです。昔は観光船がありましたが、漁船でも同じようなことができます。また、自分の仕事として、10年前からSUPボード体験を行っています。富戸に生まれ育ったからには、海を活用していただきたいなと思います。		
回 答		
海から見た富戸ということで、大事なことだと思います。		
私も何回か川奈や八幡野で漁船に乗せていただきました。海からの伊豆半島、私たちの伊東市を見ますと、こんな形をしていて、こんなにきれいなのかと、驚くほどの感動がありました。海から見る伊東という視点も、今後の観光や体験コンテンツに取り入れてまいりたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-⑯
地域の魅力の向上について		
富戸の魚見小屋が素晴らしい改修され、城ヶ崎からぼら納屋、門脇灯台、魚見小屋の景色は貴重だと思います。旧部落は海沿いに海に向かって家が建っていて、世界中にもない環境です。また、城ヶ崎海岸駅から門脇灯台に向かうにしても、自然がそのまま残っていてとても良いです。外国人の方々も、いろいろな国の方が見に来てくださっています。このことを富戸の人たちは誇りに思わないといけないし、大事にしなければならないと思います。		
ただ、伊東市は「花と海といでゆの街」ですが、花がないと思います。例えば、城ヶ崎海岸駅から魚見小屋までの動線や、伊東駅から海岸線、旅館いな葉、東海館、キネマ通りまでの動線だけでも2m毎に花を置いたらもっと人が来ると思います。		
回答		
お話を熱い地域愛を感じました。なかなか海から見る機会はありませんが、本当に素晴らしいところだと、毎日市役所に通っていてそう思います。		
地域が地域の素晴らしいところを守っていくためには、課題もたくさんありますが、その課題に対して一緒に努力していくのが私たち行政の務めだと思っております。全てのご意見に全てパーカーフェクトに応えるということは無理かもしれません、今おっしゃったような富戸の環境や自然をしっかりと守って地域を継続していくことは非常に大切なテーマであると同時に、これから少子高齢化などいろいろな問題がありますが、皆様のご意思を、地域をどうしていきたいのかを大切にしながら、私たちもできる限りのことを一緒にやってまいりたいと考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑪
街灯の設置について		
私は小旅館を営んでいますが、観光客の方やスタッフから、富戸駅から国道135号に出る道に街灯がなく、暗くて怖いという話がありましたので、街灯を増やしていただきたいです。		
回 答		
防犯灯といわれるものは各町内会や区などで設置していただいておりまして、その設置に対する補助金として、一つ一つに上限はありますが、設置費用の10分の9を補助するということで、今年度から町内会や区の負担が少ないように制度を改正しておりますので、具体的な場所を町内会や区の方とご相談していただければと思います。		
市で直接防犯灯の設置というのはしておりませんので、地域の方の助け合いということでご理解いただければと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑯
統合後の旧学校跡地の避難場所としての活用について		
現在、旧西小学校や旧川奈小学校の跡地は使われておらず、先日の新聞に旧川奈小学校跡地の活用に向けた取組に関する記事が載っているのを見ました。小学校や中学校は災害時の広域避難場所になっていると思いますが、学校がなくなっていった場合に、災害時にはどこへ避難するのか知りたいです。		
回 答		
閉校となった場合でも、避難場所として使用することが可能です。 旧川奈小学校のように、公募型プロポーザルを行って貸し出す場合でも、地域との連携や貢献については、採点項目に盛り込んでおります。 跡地の活用には、避難場所としての提供をプロポーザルの条件に盛り込んでおりますが、今後本当に学校がなくなってしまったらどうするのかということも含めまして、防災については総合的に検討してまいりたいと考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-⑯
副市長や教育長について		
前市長が退職した際、2人の副市長と教育長も退職しました。引継ぎもしないうちに退職できるのなら、そのような役職はいらないということではないでしょうか。市長にはまず行政の中のことをしっかりとしてほしいです。		
回答		
市政に滞りがないようにすることが一番大事なことだと思います。 就任後間もないこともありますが、できる限り皆様にご迷惑が掛からないよう にしていくこと、それとこれから伊東市のためにしっかりとした形でやってい けると感じていただくことが一番大切だと思っております。頑張らせていただき たいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑩
市と市民との情報共有等について		
市と市民が双方向に情報を共有したり、意見を交換したりすることで、一人一人が考えて判断できるきっかけになり、良い考えや良い行動につながると思いますので、そういう仕組みを作っていただけたらと思います。		
回 答		
ネットやSNSなどがそのような機能を備えていると思います。ですが、ネットなどを使えないという方もいらっしゃいますので、こうやって皆様と顔を突き合わせてお話しするという機会をいかに持てるか、地域の中でも小さな集まりを作り、いろいろな方々と意見を交わせる機会を作るということが大切だと思います。		
難しい問題ですけれども、是非今後の参考にさせていただきたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-②①
地域コミュニティの維持について		
地域の問題点として、まず農協が吉田に移り、駐在所も吉田に移り、幼稚園も八幡野に移りました。そして小中一貫校の案も出ています。少子高齢化が進むこの地域のコミュニティが崩壊してしまうのではないかと危惧していますが、どのようにお考えでしょうか。		
回 答		
すぐにこうですと答えが出せませんが、皆様がどうありたいのか、どうやって何を残していくのかという考え方を尊重し、私たち行政にできることは何だらうかと一緒に考えていくしかないと率直に思います。		
昨今の社会問題は非常に難しく、お金を投入すれば何とかなるという問題ではない課題もたくさんあります。人材難ということもありますし、駐在所がなくなるというのは確かに地域にとっては大きな不安だと思います。		
大事な問題だと思いますので、よく考えさせていただきたいですし、皆様からのアイデアやご意見はたくさんいただきたいと思います。		
この地域がどうありたいのか、どういうふうに向かっていきたいのか、皆様がその意思を持って、是非地域の行方や未来を決めていっていただきたいです。それと一緒に、私に何ができるのか、できることを精一杯やらせていただきたいと考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-㉗
地域と行政のつなぎ役について		
私は市の職員の方に、子どもたちのために何かしたいと相談をすることがあります、皆さんお忙しそうで余裕がないように感じます。例えば、“市民対応課”のような部署があって、出張所のようなところに一人職員がいて、何気なく地域の方と交流をすると、このような場では聞けないような意見が聞けると思いますので、そういう立場の方がいたらいいと思います。		
回答		
国の制度で、その地域にそれぞれ集落支援員というものを置くことができる制度があります。集落支援員は市の職員とは限らず、地域で活動なさっている方を任命することもできる制度です。		
他の市町に行ったときに視察をしましたが、かなり積極的に取り入れている市町がありました。		
国からも補助が出ます。こういった制度を取り入れて、地域と行政の連絡役は必要だと思いますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-②③
観光スポットのヒント等について		
私の家の近くを海外からの観光客の方がよく歩いて通ります。最近すごく多いのですが、どこからどこまで歩いているのかが分かれば、観光スポットのヒントになるのではないかと思います。		
また、伊東の良さは温泉の湯量が非常に多いということですが、それを生かしきれていないような気がします。私は草津が好きでよく行っていましたが、なぜ人気があるのかを考えると、やはり湯畠に人が集まってくるのだと思います。加えて、今はどうか分かりませんが、無料で入れる温泉場が十数か所ありました。有料の日帰り温泉もあり、無料で入れるところがあると、苦情が来るのではないかと思うのですが、そういう訳でもないようで、懐の深さが人気に現れているのだと思います。		
回 答		
歩いている方が多いというのは確かに私もそう思います。おそらく把握というのはあまりできてないと思いますので、そういった動向が把握できるようなシステムや仕組みづくりも必要ですが、歩くに当たってのご案内、ここを歩いたら素敵ですよという情報をもっとご案内できるようにしてまいりたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-②4
今後の図書館運営について②		
図書館を新しく作るのか、旧西小学校跡地を活用するのか、いずれにしても日本全国にユニークな図書館がたくさんあると思いますので、ぜひ視察した上で、ただ本を並べるだけではなく、どういう見せ方をするのかなどを検討していただきたいです。		
回答		
参考にしたいと考えております。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-㉕
空き家の活用について		
空き家を市に寄附したいという申し出が時々あるという話を伺いました。ぜひそういった申し出を受け入れていただいて、その場所を小公園にして、公園のメンテナンスは、周辺の人たちが花を植えたり、野菜を作ったりすることができるようになると、住民同士の交流やお年寄りの生きがい、子どもたちの安全な遊び場ができると思います。		
回 答		
課題等を確認しまして、またご報告させていただきたいと思います。		
【資産経営課回答】 <p>土地、建物の寄附に関しては、市有地と隣接しており一体的な利活用が見込まれる等、市としての有効な活用が可能であると判断される場合を除き、原則として受け入れておりません。</p> <p>土地、建物を受け入れさせていただいた場合、適切な維持管理が必要となり、長期にわたり維持管理経費が必要となってまいりますことから、後年度負担を軽減させる観点からも、原則として辞退させていただいております。</p>		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-㉖
聴取した意見のその後について		
過去にこういった場で述べた意見がほとんど実現されていません。そのようなことがないようにお願いします。		
回 答		
いただいたご意見を整理し、結果についてご報告させていただきたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑦
意見聴取の場の設定について		
最初に新図書館のワークショップが行われた時に参加しました。その時中高生も参加していましたが、今後意見を聴取する場を設ける時には、対象年齢を広げて小学生も参加できるようにして、会場も市役所だけではなくいろいろな所で開催することで、これから図書館を利用していく小中高生が行きたいと思う図書館にしてほしいです。		
また、この「市長と語る会」もそうですが、夜間は目が見えにくくて外に出られないという高齢者の方もいらっしゃいますので、どの時間帯がいいのか事前に聞くことも大事だと思います。		
回 答		
開催時間等につきましては、考慮させていただきたいと思います。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-⑧
伊東の魅力を発信するきっかけづくりについて		
伊東に移住してきて思ったことは、外食をすると観光地価格で高いです。実際に行ったことがあるお店でないと伊東に来てくれた人に紹介できないので、地元の人がお店で食事がしやすいように割引などがあると、伊東の魅力を発信しやすくなると思います。		
また、先日伊東に来た友人と一緒に地引網体験に参加することができました。宿泊施設に泊まっている人しか参加できないということですが、伊東の人も体験したことがない人が多いと思います。住んでいる人が良さを伝えるのが一番効果的だと思いますので、市民も参加できる機会を作ってほしいと思います。		
回 答		
観光客価格と地元価格を分けられないかというお話ですが、経済対策として、新しい決済方法なども考えてまいりますので、いただいたご意見は参考にさせていただきます。		
【観光課補足】 伊東オレンジビーチでの地引網体験につきましては、観光イベントとして5月・6月の日曜日に実施しております。観光イベントではありますが、郷土愛の醸成にもつながり伊東の海にどんな魚がいるのかを知る機会にもなることから、市民の参加について検討してまいります。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意見	区	富戸-②9
伊東市会館建設費補助金の対象拡大について		
この補助金の対象は、町内会館を新築又は購入するために必要な経費となっていますが、市内の町内会館は老朽化により改修や補修が必要な所が出てきています。今後も増えていくと思いますので、改修や補修についても対象にしてほしいです。		
回 答		
改修や補修を行うことで長く使えるようになりますので、考えてまいりたいと思います。		
【秘書広報課補足】 自治会等が所有する会館は、老朽化が大きな課題となっていることから、令和7年10月より、従来の「伊東市会館建設費補助金」を「伊東市会館整備費補助金」に改正し、増築、改築及び修繕についても補助対象といたしました。また、会館の新築及び購入についても補助率を増額しております。申請の際は、予算化に時間を要しますので、余裕をもってご相談いただきますようお願ひいたします。		

令和7年度市長と語る会（富戸）における意見及び回答（要旨）

意 見	区	富戸-30
遊歩道の整備について		
私は伊東自然歴史案内人会の活動をしています。富戸の根の辺り、スズメ岩や長根、短根の辺りを歩いてみると素晴らしい景色なのですが、全く知られておらず、所々道が荒れていますので、全てを直すことは難しいと思いますが、標識を立てていただければ、皆さんのが歩けるのではないかと思います。		
回 答		
歩いてみると素晴らしい景色があるというのは本当にその通りだと思います。 ご案内ができるようにしてまいりたいと考えております。		